

氏 名	佐野 秀太郎
学 位 の 種 類	博士(安全保障学)
学 位 記 番 号	第 4 3 9 号
認 定 課 程 名	防衛大学校総合安全保障研究科後期課程
学位授与年月日	平成25年8月23日
論 文 題 目	米軍の追求する 21 世紀型の軍の在り方～安定化作戦における民間軍事警備会社(PMSC)の戦略的意義～
審査担当専門委員	(主査) 一 橋 大 学 教 授 大 芝 亮 中 央 大 学 教 授 滝 田 賢 治 専 修 大 学 教 授 森 川 幸 一

審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、冷戦後の紛争において注目されるようになった民間軍事警備会社について、イラクおよびアフガニスタンの事例をとりあげて、実証的に分析したものである。

本論文は、まず、つぎのような問いを設定する。すなわち、①米軍は、イラクおよびアフガニスタンで民間軍事経済会社(PMSC)を数多く活用するようになったが、これにより、米軍の活動はいかなる影響を受けるようになったのか。②米軍は、PMSC の支援なしには安定化作戦を遂行できないほどに PMSC の影響力は拡大しているのか。

これらの問いに答えるために、本論文は、まず、多様な PMSC について、雇用主（国家機関、非国家機関）と外部委託される業務内容（警護・警備業務と非警護・非警備業務）の2軸から分類する（本文 15 頁，図 1）。また、研究対象となっている PMSC の業務内容および活動地域の拡大状況を 1990 年代前半，後半，2000 年代に時期区分し，整理する（本文 46 頁，図 2）。このように PMSC を整理したうえで，第 2 部として，第 4 章から 5 章，6 章においてイラクおよびアフガニスタンにおける PMSC の活用状況について事例分析を行う。また，7 章では，イラクおよびアフガニスタンにおける PMSC に対する規制に焦点を当てて実証的に分析を行っている。こうして，PMSC の米軍における役割が非常に大きなものになっていることを明らかにしている。

論文の目的および構成は明瞭であり，PMSC に活動および規制について，米国の議会資料や GAO(General Accountability Office)の資料も駆使して分析しており，事例検証はきわめて説得力のあるものになっている。

しかし、もとより、より徹底して議論すべき個所も残されている。まず、PMSCに関する政治学、経済学等の多方面からの先行研究について、それぞれのアプローチの長所と欠点について、もうすこし議論がなされてもよいのではないか。次に、PMSCについて、傭兵や、平和構築活動における文民の活動との区別なども必ずしも明瞭ではない。さらに、PMSCの役割が大きくなる安定化作戦自体の国際政治における意味合いについて、より徹底した考察がなされてもよいのではないだろうか。

以上のことは今後の課題であり、国際政治のうえで重要度の高いテーマでありながら、これまでに実証的な研究の少ないPMSCについての優れた研究として高く評価することができると判定し、博士（安全保障学）の学位を授与するに値する論文であると認定する。